

瀬戸の農産物と新たな食文化の中心地

道の駅 せとしなの

【直売所の概要】

- ・所在地：愛知県瀬戸市品野町1丁目126番地の1
- ・運営主体：株式会社ジェック経営コンサルタント
- ・取組内容：直売所、レストラン（せとめし食堂）
- ・取扱高：約2.78億円（令和6年度）
- ・来客数：約60万人（令和6年度）
- ・従業員数：25人（令和6年度）
- ・URL：<https://michinoeki-setoshinano.jp/>



外観



地元農産物コーナー



瀬戸めし食堂



瀬戸めし2.0

【開設の経緯】

- 瀬戸市の農畜産物の振興・発信の重要な拠点という位置づけで、平成21年3月に開業。
- 令和3年度から、直売所とレストランの運営主体を指定管理業者として、現在の運営体制に変更。

【特徴的な取組】

- 地元産の農産物コーナーにはその季節の野菜が多く並び、春は山菜、秋は里芋が多いのが特徴。
- 畜産物は、瀬戸の名前を冠したブランドの牛肉や豚肉が揃う。特に牛肉は、食味が良いが生産量が少なく貴重。
- 瀬戸めしの文化を味わえるせとめし食堂を運営。代表的な瀬戸めしである瀬戸焼そばは自宅でも作れる。
- 道の駅発祥の新たな瀬戸市の食文化「瀬戸めし2.0」を開発。2種類のあんかけ焼きそばを皮切りに令和5年度から提供開始。

【売上高等の推移】

	令和3年度	令和6年度
取扱高	約2.55億円	約2.78億円
来客数	約60万人	約60万人
従業員数	28人	25人

【今後の展望】

- 生産者と消費者の双方にとって良い影響が生まれるような、農業体験の企画を充実させていきたい。

